

様式第1（新規伝統工芸品）

島根県ふるさと伝統工芸品指定申請書

年 月 日

島 根 県 知 事 様

住 所

名 称

代 表 者

印

電話番号

FAX 番号

島根県ふるさと伝統工芸品振興要綱第3条第1項の規定により、次の工芸品を島根県ふるさと伝統工芸品として指定されるよう申請します。

記

1 申請に係る工芸品の概要（別紙のとおり）

- (1) 工芸品名
- (2) 沿革
- (3) 用途
- (4) 製造過程
- (5) 製造技術又は技法
- (6) 使用原材料
- (7) 製造地域、製造事業所数及び従事者数
- (8) 製造従事者
- (9) 工芸品の現況

2 添付書類

- (1) 工芸品の主要な製造工程の写真
- (2) 完成した工芸品の写真
- (3) 団体の場合は構成員名簿及び団体の規約又は定款
- (4) その他参考資料

- (備考) 1 申請者は、指定申請書1通及びその写し2通を提出する。
2 市町村長は、写し1通を控えとし、残部を知事に送付する。

(別紙)

様式第1-(1) 工芸品名

[]

様式第1-(2) 沿革(歴史)

[]

(注) 工芸品の発生起源から現在に至るまでを簡単明瞭に記入する。

様式第1-(3) 用途

製品名	用途

(注) 当該工芸品に係る主な製品について記入する。

様式第1-(4) 製造過程

<p><工程図> <工程図> (注) 代表的な工程について記入する [例]</p> <pre>graph LR; R1[原材料名] --> E1[①工程名]; R2[原材料名] --> E1; R3[原材料名] --> E2[②工程名]; R4[原材料名] --> E4[④工程名]; E1 --> E2 --> E3[③工程名] --> E4 --> E5[⑤工程名] --> E6[⑥工程名] --> E7[⑦工程名]; E7 --> P[『工芸品』];</pre>					
順番	工程名	内容	手作業の有無	主要工程	伝統的な技術又は技法の有無

- (注) 1 「工程図」は、原材料から工芸品の完成までの過程を図示する。
 2 「内容」は、各工程における作業内容を具体的に記入する。
 3 「手作業の有無」は、○×で記入する。
 4 「主要工程」は、○を記入する。
 5 「伝統的な技術又は技法の有無」は、○×で記入する。この場合において「伝統的な」は、50年以上の歴史を有することを意味している。

様式第1－(5) 製造技術又は技法

番号	技術又は技法の名称	技術又は技法の確立された年代、地域	具体的な内容	確立された後現在までの変化の概要

- (注) 1 「番号」は、様式第1－(4) 製造過程の工程図の中に記入した番号を記入する。
 2 「確立された年代」は、元号又は西暦で記入する。

様式第1－(6) 使用原材料

名称	使用され始めた年代	主要産地	特徴・使用している理由等

- (注) 1 「使用され始めた年代」は、元号又は西暦で記入する。
 2 「主要産地」は、県外のときは国名又は都道府県名で、県内のときは市町村名で記入する。

様式1－(7) 製造地域、製造事業所及び従事数

製造地域	製造事業所数	従事者数
計		

- (注) 1 「製造地域」は市町村名で記入する。
 2 「従事者数」は当該工芸品の製造に直接携わっている人数を記入する。

様式1 - (8) 製造従事者

製造従事者 氏名	生年月日	当該工芸品製造従事年 数及びその期間 年(年月～年月)	技術、技法の師事 氏名 年(年月～年月)	工芸品製造に關す る表彰、資格等
		年 (年月～年月)	氏 年 (年月～年月)	
		年 (年月～年月)	氏 年 (年月～年月)	

様式1 - (9) 工芸品の現況

対象期間 年月～年月	生産額 (千円)	販売額 (千円)	主な販路	備 考
年月～年月				
年月～年月				
年月～年月				

- (注) 1 「対象期間」は、指定申請年度の直前3箇年について記入する。
 2 「備考」は、当該工芸品に係る受賞、表彰、登録及び需要の傾向などを記入する。

その他特記事項

(注) 当該工芸品についてその他参考となる事項があれば記入する。